

第1回木曽川下流水防災協議会 開催概要

【目的】

平成27年関東・東北豪雨における大規模な浸水被害の発生や地球温暖化の進行による水災害の頻発化・激甚化が懸念される中、昭和34年9月の伊勢湾台風における高潮・洪水により広範囲かつ長期間の浸水被害を経験した木曽三川下流部において、再び施設能力を上回るような高潮や洪水が発生することを前提として、**関係市町村や県等が連携して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための協議・情報共有を行うことで、「水防災意識社会」を再構築する。**

【開催概要】

日時: 平成28年7月6日(水) 10:00～11:30

会場: 木曽川下流河川事務所1階会議室

出席: 海津市危機管理課長、愛西市防災安全課長・土木課長、弥富市開発部次長・土木課長、桑名市防災・危機管理課長・土木課長、木曽岬町危機管理課長、津島市危機管理課長・都市整備課長、蟹江町総務部次長・産業建設部次長、飛島村総務課長・建設課長、岐阜地方気象台防災管理官、名古屋地方気象台防災管理官、津地方気象台防災管理官、岐阜県西濃県事務所・大垣土木事務所、愛知県尾張県民事務所海部県民センター・海部建設事務所、三重県桑名地方防災総合事務所・桑名建設事務所、(独)水資源機構中部支社事業部長 木曽川上流河川事務所保全対策官、木曽川下流河川事務所長 等

議事: ①木曽川下流水防災協議会(仮称)の設立について、②現状の水害リスク情報や取り組み状況の共有、③減災のための目標(案)及び取組方針について、④今後のスケジュールについて

決定事項: 5年間で達成すべき目標

木曽三川下流部の大規模な水害に対し、これまで以上に管内の自治体と連携し、**「住民の防災意識の向上」、「人的被害・社会経済被害の最小化」を目指す**ことを決定

次回協議会: 平成28年10月18日

(群馬大学片田敏孝教授をアドバイザーに迎える予定)



【主な発言内容】

名古屋地方気象台: 警報級の現象の可能性についての提供に向け、現在準備を進めている。